

知的生産の技術研究会講演記録
(1970～2021)

開催年	講師	セミナーテーマ
1970	さいとうきょうぞう(カナモジ会)	「ヨーロッパの作家とタイプライター」
	多湖 輝(心理学者)	「企画力・頭のつかい方・働かせ方」
	前園主計(日本生産性本部)	「読書の技術」
1971	中山正和(NM法創始者)	「考える技術」
	藤川正信(情報評論家)	「情報のさがし方」
	扇谷正造(評論家)	「表現の技術」
	三沢 仁(産業能率短大教授)	「ファイリングの技術」
	小林一作(情報科学研究所)	「情報システムのつくり方」
	片方善治(情報評議家)	「創造開発の技術」
	鶴巻敏夫(経営評論家)	「知的生産の源泉」
1972	時野谷浩(東海大学教授)	「カードのつかい方、私はこうしている」
	かいきよみち(情報評論家)	「情報整理の仕方」
	谷脇規成(創造工学研究所)	「開発の技法・NM法について」
	永崎一則(言論科学研究所)	「人間関係と話し方」
	糸川英夫(組織工学研究所)	「未来を開くシステムエンジニアリング」
	河原 淳(イラストレーター)	「私の叢材と情報整理」
	時野谷浩(東海大学教授)	「忙しい人のためのカードによる情報整理術」
	石田民雄(長瀬産業)	「音声情報活用の仕方」
1973	紀田順一郎(情報評論家)	「書物・情報・読書」
	岩崎隆治(情報評論家)	「問題解決の技法KJ法について」
	遠藤 昭(情報評論家)	「知的生産のための機器利用法」
	杉森久英(作家)	「事業成功者における人間の研究」
	青地 晨(ノンフィクション作家)	「大宅壮一の評論活動とその手法」・
	宮川達夫(富士通)	「危機の時代・ゴングによる未来予測」
	中山正和(創造工学研究所)	「禅の工学的研究」
	弟子丸泰仙(ヨーロッパ禅研究会)	「ヨーロッパにおける禅」
	西堀栄三郎(探検家・科学者)	「探検と情報」
	黛 治夫(軍事評論家)	「海戦のゲームについて」
	亀山 耀(組織工学研究所)	「社会環境の変化とシステム法」
	読売新聞見学会(読売新聞資料部)	「新聞社における情報整理の実際」
	羽仁五郎(歴史学者)	「都市の論理について・私の情報整理」
	扇谷正造(評論家)	「文章表現の技術」
	片方善治(システム研究センター)	「ZK法について」
	金村 繁(国会図書館)	「凶事館の効果的利用法」
	板坂 元(ハーバード大学・国文学者)	「考える技術・書く技術」
	紀田順一郎(情報評論家)	「情報とは何か」
	岩崎隆治(情報評論家)	「KJ法演習」(以後通算12回実施)
1974	鈴木幸夫(日本経済新聞社論説委員)	「経済の見方、考え方」
	小中陽太郎(作家)	「現代マスコミの状況について」
	西丸震也(農林省食糧総合研究所)	「世界の食糧事情・今後どうなるか」
	中山正和(創造工学研究所)	「禅・悟りの構造を解明する」
	松平康隆	「男子バレーを世界最強に育て上げるまで」
	見田宗介(東京大学教授)	「日本人の心情と論理」
	渡辺 茂(東京大学教授)	「学際思考のすすめ」
	立花 隆(評論家)	「エコロジー的発想のすすめ」
	今井 正(映画監督)	「私の映画づくり」
	亀山 耀(組織工学研究所)	「情緒産業について」
	俵孝太郎(ジャーナリスト)	「私の政治家像」
	浜野安宏(浜野商品研究所長)	「私の発想法」
	川勝 久(情報評論家)	「情報道場」
	天野祐吉(マーケッター)	「コンセプト作法」

知的生産の技術研究会講演記録
(1970～2021)

開催年	講師	セミナーテーマ	
1975	岡本太郎(画家)	「私の芸術論」	
	岡村昭彦(国際ジャーナリスト)	「私の決定的瞬間」	
	飯塚昭男(経済ジャーナリスト)	「私の情報学」	
	立花 隆(評論家)	「私の問題追求の技術」	
	外山滋比古(お茶の水大学教授)	「ライフワークについて」	
	竹内 均(東京大学教授・地球物理学)	「全地球的発想へ」	
	小室直樹(政治学者)	「経済学と現実の間」	
	蘆原英了(音楽評論家)	「私の評論活動と情報整理」	
	三神良三(評論家)	「曲線思考的価値観について」	
	高瀬広居(評論家)	「仏教思想のアクチャリティについて」.	
	三原竜介(心理トレーナー)	「人間能力開発法」	
	1976	森 恭三(朝日新聞論説主幹)	「私の歩んだ道」
		深田祐介(作家)	「タテメシの社会・ヨコメシの社会」
国弘正雄(評論家)		「語学における国際文化論」	
緒方良彦(情報評論家)		「新聞情報のつかい方」	
青地 晨(ノンフィクション作家)		「新聞をどう読むか」	
ばばこういち(ジャーナリスト)		「私の人物取材法」	
松本道弘(デバート道場)		「対話能力を高める法」	
村上 薫(軍事評論家)		「戦争における発想の転換」	
時野谷浩(東海大学教授)		「私の実践的コンピュータ体験術」	
谷脇規成(情報評論家)		「NM法演習実施」(以後2回実施)	
1977		渡部昇一(上智大学教授)	「知的能力再開発のための提言」
		加藤秀俊(学習院大学教授)	「情報の収集・選択・取材の方法」
		平塚八兵衛(元警視庁刑事)	「私の犯罪捜査法」
		山本七平(評論家)	「東西の思想のちがいについて」
	佃 実夫(情報評論家)	「私の文献探索法」	
	小谷正一	「(評論家)私の発想法」	
	堺屋太一(作家)	「私の仕事と発想」	
	川添 登(都市計画家)	「都市からの発想」	
	福田豊土(俳優)	「私のドキュメント映画づくりのすべて」	
	中山正和(NM法)	「工学禅研究」	
	亀山 耀(組織工学研究所)	「システム法演習」(以後3回実施)	
	1978	竹村健一(ジャーナリスト)	「人間能力の開発について」
		西川 潤(社会学)	「論文の読み方、書き方」
		松本道弘(英語・ディバート道場)	「知的対決のためのディバート」
大岡 信(詩人・文学者)		「私の文章作法」	
大和勇三(評論家)		「私の人材論」	
井上富雄(評論家)		「ライフワークのための能力開発法」.	
佐藤泰正、(筑波大学教授)		「速読法」	
熊井 啓(映画作家)		「私の映画作法」	
後藤和彦(情報評論家)		「多重放送時代のテレビ活用法」	
渡部昇一(上智大学教授)		「知的生活の方法・その後英国で考えたこと」	
小室直樹(政治学者)		「現代理論経済学演習」	
中村元一(経済学者)		「80年代の企業戦略」	
長尾 晃(話し方トレーナー)		「話し方演習」(以後4回実施)	
朝日新聞資料室		「朝日新聞見学会」	
1979	加藤秀俊(学習院大学教授)	「体験的情報取材学」	
	竹内 宏(経済学者)	「私の日本経済のつかみ方」	
	荻 昌朗(NHK)	「耳学問の方法」	
	今西錦司(生物学者)	「私の認識の方法」	
	糸川英夫(組織工学研究所)	「私の能力開発」	
	森 政宏(東京工業大学教授)	「自在のこころ」	
	野口三千三(東京芸術大学教授)	「知的生産と体力」	
	吉田夏彦(東京工業大学教授)	「哲学と知的生産の間」	
	高島 陽(評論家)	「新処世術」	
	加藤 寛(経済学者)	「高齢化社会とこれからの日本社会」	
	水田 洋(名古屋大学教授)	「知の周辺」	

知的生産の技術研究会講演記録
(1970～2021)

開催年	講師	セミナーテーマ	
1980	外山滋比彦(お茶の水大学教授)	「読むことについて」	
	樋口清之(歴史学者)	「歴史に学ぶ」	
	羽仁五郎(歴史学者)	「教育の論理」	
	木村利人(パーパート大)&岡村昭彦(ジャーナリスト)	「バイオエシックスについて」	
	中川八洋(政治学者)	「北条泰時とジェファーソン」	
	唐津 一(経営評論家)	「私の情報活用法」	
	桑原武夫(仏文学者)	「わたしの知的生産」	
	永田 清(三菱総合研究所)	「日米の情報ギャップ」	
	小田島弘(リコー)	「わたしの知的武芸一八般」	
	中川八洋(政治学者)&小室直樹(政治学者)	「日本は超先進国か」	
	中野美代子(北海道大学教授・中国文学者)	「中国人の思考方法」	
	岡村昭彦(国際ジャーナリスト)&本城靖久(評論家)	「国際感覚とは何か」	
	山口昌男(東京外語大教授)	「記号論とは何か」	
	1981	小中陽太郎&植田康夫	「物を書く力をつけよう」part1
長谷川慶太郎(国際ジャーナリスト)		「現場からつかんだ経済学」	
鎌田慧&吉岡忍(ノンフィクション作家)		「物を書く力をつけよう」part2	
飯田経夫(経済学者)		「経済を見る目」	
堀江謙一(ヨットマン)		「どうして海を渡るか」	
杉田繁治(国立民族学博物館教授)		「技術進化の構造について」	
村松増美(サイマルアカデミー社長)&松本道弘(英語学)		「英語に強くなる法」	
井上ひさし(作家)		「これからの文化と才能」	
渡辺京二(伝記作家)		「歴史をさかのぼる」.	
多田道太郎.(京都大学教授)		「活字情報の整理法」.	
加藤栄一(筑波大教授)柴田穂(ジャーナリスト)鈴木博信(NHK)		「国際情報の読み方」	
1982		佐々淳行(防衛庁)	「危機管理のノウハウ」
	李 御寧(韓国梨花大学教授)	「縮み志向の日本人」	
	脇 英世(情報評論家)	「マイコンをつかった知的生産め技術」	
	田原総一郎(ジャーナリスト)	「私のニッポン現況報告」	
	カーン・ユスフザイ(駐日ジャーナリスト)	「アラブから見た日本」	
	今野健一(SF作家)	「私は重力の秘密を解いた」	
	栗本慎一郎(明治大学教授)	「経済人類学とは何か」	
	加藤秀俊(社会学者)	「知識と情魂のカテゴリー論」	
	橋爪大三郎(東京大学講師)	「記号論入門」	
	毎日新聞社資料部見学	「毎日新聞社の情報整理」	
	1983	小川 明(博報堂)	「時代を盗む」.
		片野憲二(情報評論家)	「白書の見方、読み方」.
後藤和彦(MK総合研)&志賀信夫(評論家)		「ニューメディアの付き合い方」	
金山宣夫(東和大学教授)		「ハーバード流交渉術」	
中川昌彦(評論家)		「速読術」	
高野 孟(ジャーナリストx)		「世界地図の読み方」	
森谷正規(野村総合研究所)1		「先端技術はどこまで進んでいるか」	
甘糟 章(雑誌編集者)&島本修二(雑誌編集者)		「雑誌文化の行方」	
山根一真(フリージャーナリスト)		「私の知的生産の技術」.	
沼上満雄(クリエイター)		「CFづくりの苦勞と.喜び」.	
広野 譲(経営コンサルタント)		「知的生産のためのパソコン活用術」	
1984		角間 隆(ジャーナリスト)	「グローバル時代の情報戦略」
	古川哲夫(野村総合研究所)	「経済記事の読み方」	
	永田 清(三菱総合研究所)	「メガトレンド時代の発想」:	
	西岡文彦(デザイナー)	「図解発想法」	
	合田周平&山口勝弘&相倉久人(音楽評論)	「光文明の起源」	
	八木大介(国会議員)	「ビジネスマンの見た国会」-	
	紀田順一郎(情報評論家)	「変動する世界への知的視点」	
	山田智彦(作家)	「私の二足のわらじ体験論」	
	大隈秀夫(評論家)	「プロになるための文章作法」	
	佐山和夫(ノンフィクション作家)	「第三回潮賞を翠賞するまで」	
	川手 誠(スタッフ)	「話し方の技術」	

知的生産の技術研究会講演記録
(1970～2021)

開催年	講師	セミナーテーマ
1985	村井友秀(防衛大学教授)	「失敗の本質」
	増田祐二(国際経済大学教授)	「技術進歩における生態史観」
	花村太郎(情報評論家)	「知的トレーニングの瘦瘠」
	井尻千男(日本経済新聞コラムニスト)	「コラムにおける文章作法」
	関沢英彦(博報堂生活総合研究所)	「ヘテロビジネスの時代」
	川勝 久(情報評論家)	「生き残るための情報整理学」
	土井泰彦(サンケイ新聞社論説委員)	「新聞社説を書く法」
	香山健一(学習院大学教授)	「教育の自由について」
	猪口 孝(東京大学教授・政治学)	「社会科学的に情報を読もう」
	1986	稲本 正(オークビレッジ)
丸山元淑(通産省)		「新しい時代を考える」
江口雄次郎(野村総合研究所)		「予想される危機のシナリオ」
山根一真(情報評論家)		「変体少女文字の研究」
伊東俊太郎(東京大学教授)哲学)		「創造のカー湯川博士の教える」
寺島実郎(三井物産調査部)		「国際情報戦略」
中村隆英(経済学者)		「経済と経済学との関係」
浅田 彰(京都大学・哲学者)		「私の知の戦略」
千尾 将(評論家)		「あなたも本が書ける」
西部 邁(東京大学教授)		「知の力について」
西 和彦(アスキー社長)		「情報社会論」
1987	きょう・徳相(韓国史学者)	「韓国歴史から見た日本」
	三留理男(国際カメラマン)	「世界の激動地帯を撮る」
	木村 敦(本田技術研究所長)	「活力ある技術集団を目指して」
	品川嘉也(日本医科大学教授)	「右脳の使い方、生かし方」
	高橋乗宣(三菱総合研究所主席研究員)	「第三の経済危郵」
	望月照彦(都市計画家)	「私の企画とプレゼンテーション術」
	水野誠一(西武百貨店渋谷店長)	「わたしの商業戦略」
	松本道弘(英語・ディベート道場)	「ゼロの発見ーインドの旅」
	北矢行男(経常学者)	「ニューパラダイムの企業学」
	小川俊一(評論家)	「サラリーマン時代に仕事財産をつくれ」
	塚本慶一郎(アスキー副社長)	「アスキーのネットワーク戦略」
	1988	幸尾治郎(航空機技術者)
谷口正和(JLDS社長)		「時代の気分をいかに理解するか」
浦 達也(NHKディレクター)		「合わせ鏡で見るポストモダン」
宮脇 昭(横浜国立大学教授・植物学者)		「フィールドワークの方法」
松川邦生(主婦の友編集者)		「ベストセラーの作り方」
今野信雄(クリエイター)		「二足のわらじの履き方」
草野芳郎(裁判官)		「和解の技術」
保坂栄之介(創工)		「イメージコントロール法」
木本昭子(イベントプロデューサー)		「私は美と感動の演出家」
神 一行(ノンフィクション作家)		「官・政の構造について」
坂崎靖司(出版プロデューサー)		「企画の素」
1989	増田米二(評論家)	「90年代情報社会の進展はどうなるか」
	大橋照枝(マーケッター)	「世代差ビジネス論」
	田村 尚(マーケッター)	「プレゼンテーションの技術」
	橋本保雄(ホテルオークラ専務)	「感・混・創・才を発揮せよ」
	平林千春(コミュニケーションシステム研究所長)	「ビジネス社会における知的生産」
	中村達也(経済学者)	「時間の考え方と技術」
	長崎快宏(旅行作家)	「やわら頭のつくり方」
	篠田雄二郎(評論家)	「EC統合はどんな影響を日本に及ぼすか」
	牧田正一路(日本経済新聞副編集長)	「情報の読み方・日経新聞をどう読むか」
	永川幸樹(ノンフィクション作家)	「私の人物取材術」

知的生産の技術研究会講演記録
(1970～2021)

開催年	講師	セミナーテーマ
1990	降旗節雄(帝京大教授)&荒井好民(SI)	「日米関係どうなるか」
	守永英輔(旭リサーチセンター)	「企業車座社会が変わるとき」
	杉山勝行(データベース研究家)	「データベースの使い方」
	河村幹夫(三菱商事取締役)	「ビジネスマンの自己実現は休日にある」
	三石玲子(住友ビジコン主任研究員)	「私の企画売り込み術」
	齊藤俊彦(元NHK資料部)	「調べるにはどうするか」
	今田俊彦(東京工業大学教授)	「仕事は新しい意味の創造になる」
	北村節子(日本女子登撃クラブ会長)	「私の日常と非日常」
	足立倫行(ノンフィクション作家)	「プロ・ノンフィクション作家の方法と技術」
	丸山元淑(通産省駐イタリア参事官・東京都特命担当部長)	「欧州の逆襲」
	久恒啓一(知研)	「凶解の技術」
	長崎快宏(旅行作家)	「パソコンによるデータリサーチの方法」
	1991	吉村作治(早稲田大学教授)
樋口健夫夫妻(東京ネットワーク通信部長)		「アイデアおやじになる法」
金森誠也(ノンバルト研究家)		「資本主義はどこから来たか」
清水 博(分子生物学者・東京大学教授)		「学問研究の姿勢について」
渡辺一雄(三菱電機営業本部長代理)		「個人も社会も社会貢献の時代」
高橋伸治(データベース研究所)		「企画のためのデータベース活用法」
田近伸和(フリージャーナリスト・会員)		「生き方の達人」
逢坂 剛(作家)		「私のライフデザインと小説作法」
新 将命(国際ビジネスブレイン社長)		「日本の経営、アメリカの経営」
佐藤 進(元新日鉄製品技術研究所副所長)		「自由業ソフトランディング術」
久恒啓一・八木哲郎(知研)		「凶解の技術」合宿演習
渡辺利夫(東京工業大学教授)		「離陸するアジア経済圏」
1992		中村雄二郎(明治大学教授、哲学者)
	北矢行男(戦略問題研究所長・会員)	「知本主義の経営学」
	三田村和彦(ワコール宣伝部長)	「企画力の育て方」
	三上和幸(国際交通安全学会専務理事)	「暴力団の組織構造」
	梶井一仁(KBC社長)	「実力のつけ方」
	荒 和雄(ブレンサービス社長)	「野心家ビジネスマンの行動学」
	山下竜一(日本Lclcadips推進室長)	「知的生産性向上システムDIPSとは」
	叶 芳和(国民経済研究協会理事長)	「グローバル経済の見方」
	小石雄一(通産省)	「4つのPですればもっとライフベターにできる」
	寺島実郎(三井物産ワシントン事務所長)	「大統領選後のアメリカを読む」
	清水正造(NECシステム建設会長)	「現場百見」
	堀田 力(さわやか福祉センター主宰)	「私の生き方、社会正義と社会貢献」
	池辺八州彦(筑波大教授・会員)	「2つの専門で人生の達人をめざす」
	浦 達也(大学教員・元NHKディレクター)	「仮想文明の誕生」
	永田 清(玉川大学教授・元三菱総合研究所参与)	「大学教授になる法」
1993	荒井伸也(サミット社長)	「法人優遇社会から個人優遇社会へ」
	海老沢敏(国立音楽大学学長)	「天才の研究モーツアルトを迫って」
	増田祐司(東京大教授)高瀬保(東海大教授)	「実感的EC特集」
	加藤由基雄(明治製菓食料総合研究所長・会員)	「売れ筋づくり」
	寺島実郎(三井物産ワシントン事務所長)	「2つのフォーチュン」
	菊地 誠(ソニー総合研究所技術顧問)	「研究現場で何が起こるのか」
	本川達雄(東京工業大学教授)	「ゾウの時間、ネズミの時間」
	黒川康正(黒川国際法律会計事務所長)	「独学術」
	養老孟司(東京大学教授)	「解剖学から見た世界」
	横張明夫(同文書院編集長)	「本づくり30年、企画をどう生むか」
	山澤いく宏(医学博士・東京医大助教授)	「心臓医の知的生活」
	佐藤友紀(フリージャーナリスト)	「海外人脈・ネットワーキングの方法」
	久保田達也(ITS代表取締役・企画マン)	「企画術」

知的生産の技術研究会講演記録
(1970～2021)

開催年	講師	セミナーテーマ
1994	橘川幸夫(橘川幸夫事務所代表・マーケッター)	「生意気の研究」
	川又三智彦(ウイークリーマンション・ツカサ社長)	「アイデア社長の企画術」
	八木哲郎(知研会長)	「知的生産の技術について」
	功刀照夫(朝日ウイークリー社長)	「あなたの国際度はどの位」
	高橋憲行(企画塾塾長)	「企画道場」
	野口悠起雄(一橋大学教授)	「超整理法」
	岩井好子(カラーコーディネーターデザイナー)	「好感度アップの自己プレゼン術」
	西 和彦(アスキー社長)	「知的生産者のためのメディアシステムとは」
	大槻義彦(早稲田大学教授)	「物理学最前線から火の玉まで」
	小田 実(作家)	「知的仕事とは何ぞや」
	中村 明(富士通事業推進プロジェクト部)	「パソコン通信が世界を変える」
	古瀬幸広(フリージャーナリスト)	「マルチメディアを使いこなそう」
	齊藤茂男(フリージャーナリスト)	「私の取材の方法」
	1995	橋本重美
苅谷剛彦		「教育の技術」
草野芳郎		「判決と和解」
石川好		「私にとって知とは何か」
岩崎正信		「パーソナルデータベースづくりのすすめ」
橋本重美		「私の仕事の進め方ーポストイット活用法」
中松義郎		「ドクター中松の劣頭改造・発想法」
本城靖之		「私がプロになるまで 第1回」
ペマギャルポ		「チベット人から見た日本人論」
養老孟司		「脳の中にある現実」
野口靖夫		「文章の防災十訓 六甲山上の垂訓」
甲部昭美		「品質の時代のマーケティング」
河村幹夫		「キーワードは時間と整理」
軽部征夫		「創造性をいかに開発するか」
橋本重美		「私の「非」知的生産の
伊藤幸人		「日本と世界の未来をフォーサイトする」
小田実		「被災の思想 その1」
林田スマ		「言葉とコミュニケーション」
三石玲子		「私のバーチャルオフィス」
三田村和彦		「結局なにが経営の基本になるか」
小田実		「被災の思想」
山澤いく宏		「仕事は忙しい人に頼みなさい」
関沢英彦		「モヤモヤ情報は自分内部かちの報らせ」
梅棹忠夫		「日本語の国際流通のためにローマ字化が必要」
久保田達也		「「できる奴だけ生き残る」
加藤由基雄		「チャンスでキッカケをつかむ」
坂崎重盛		「私の情報収集術／編集・企画をなりわいとする立場から」
今野浩		「数学や素数が特許になる時代」
中松義郎		「日本劣頭改造論」
ペマ・ギャルポ		「チベットから見た日本人論」
水谷哲也		「インターネット体験」
軽部征夫		「創造性をいかに開発するか」
伊藤幸人		「日本と世界の未来をフォーサイトする」
今野浩		「数学や素数が特許になる時代」
寺島実郎		「私が見通す太平洋パワーゲーム時代」

知的生産の技術研究会講演記録
(1970～2021)

開催年	講師	セミナーテーマ
1996	河村幹夫	「ビジネスマン人生あれこれ」
	野口靖夫	「災害から文書を救済するには」
	外山滋比古	「アイデアが浮かぶとき」
	和泉育子	「エニアグラムとは」
	熊谷真菜	「たこやき学」
	寺島実郎	「私が見通す太平洋パワーゲーム時代」
	田辺茂也	「ホームページのつくり方」
	大橋悦夫	「パソコン日記のすすめ」
	奥村宏	「会社はどう変わるか」
	宮脇昭	「フィールドワークの方法と技術」
	今野信夫	「二足のわらじをはこう」
	多田直彦	「豊かな熟年のために」
	加藤由基雄	「ライフワークにいかに関わり込むか」
	岩野昌夫	「私の知的生産について」
	川又三智彦	「アイデア社長の企画術」
	佐藤あつ子	「初恋の人探します」
	永崎一則	「心に通じる話し方の魅力」
	手島佑郎	「ユダヤ人の思考・日本人の思考」
	三田村和彦	「時代ボケしない10の自己チェック項目」
	福田和美	「元気、差上げます」
	寺島実郎	「危険信号が出始めたエネルギーと食糧」
	田中弥生	「ドラッガーの非営利組織の経営法」
	中井秀範	「インターネット時代のデジタル吉本」
	寺島実郎	「世界で成長が始まっている」
	齊藤精一郎	「財政改革は行政改革」
	山根一真	「フリージャーナリストの技術」
	中松義郎	「ドクター中松が語る創造学金言」
	村松増美	「指導者のユーモア」
	寺島実郎	「日本の不得意な多国間外交の時代」
	森谷正規	「日本の高度情報化の進み方」
	立花隆	「私の問題追求の技術」
	中元正弘	「私の知的生産の三本柱」
	多喜義彦	「発想は横展開」
	岡田芳郎	「ビジネスマンに贈る心の処方箋」
	大内勲	「マルチメディア考」
	片平芳博	「マルチメディアとのかかわり」
	寺島実郎	「複限的思考のすすめ」
	昇地三郎	「能力開発について」
	八木哲郎	「知的生産者の得意技」
	中松義郎	「ドクター中松が語る創造学金言」
	荒 和雄	「サラリーマンから知的生産活動へ」
	寺島実郎	「多様性のなかでいかに生きるか」
	養老孟司	「脳化社会の行方」
	佐藤 進	「日本の経験は陳腐化したのか」
	工藤由美	「フリーランスなんか怖くない」
	竹村達雄	「竹村式カウンセリング」
	取違孝昭	「騙す人・腐される人の心理学」
	村松増美	「英語世界に溶け込む術」
	片岡 勝	「新しいパラダイムの起業家精神」
	轡田隆史	「魅力ある文章を書けるようになるために」
	立山裕二	「環境問題と地球にやさしいマーケティング」
	大野明彦	「世界女性監督映画祭を企画する」
	畑正高	「香りの文化とお線香」
	下村正	「アイデアをヒット商品にする方法」
	長崎快宏	「取材メモの活かし方と情報ツール活用法」
	田辺茂也	「ホームページの作り方」
	奥村宏	「会社はどう変わるか」
	西和彦	「ビジネスと生活が一変する近未来を予測する」
	永崎一則	「心に通じる話し方の魅力」

知的生産の技術研究会講演記録
(1970～2021)

開催年	講師	セミナーテーマ	
	寺島実郎	「ユダヤ人のビジネスと日本人のびじねす」	
	田中弥生	「ドラッガーの非営利組織の経営法」	
	三石玲子	「すぐたれるインターネットビジネス」	
	斎藤精一郎	「日本の赤字財政体質はこうしたら改革できる」	
	森谷正規(野村総合研究所)	「先端技術はどこまで進んでいるか」	
	畑正高	「香りの文化とお線香」	
	紀田順一郎	「ライフワークが世に出るまで」	
	西和彦	「インターネット超時間術」	
	八木哲郎	「知的生産者の共通項」	
	江口徳治郎	「KJ法演習」	
	西村晃	「ポストイット知的生産術」	
	永田清	「B6カード知的生産術」	
	久恒啓一	「図解の技術」	
	久保田達也	「インターネットビジネス戦略」	
	養老孟司	「脳のつくる世界」	
	村松増美	「英語は簡単に話せる」	
	和泉育子	「エニアグラム演習」	
	1997	橋本重美	「橋本流文章術」
		大谷由里子	「いまどきの若いモンのホンネ」
	播磨靖夫	「共感を軸としたネットワーク術」	
	天野祐吉	「世相天気図」	
	野田一夫	「僕の行政改革」	
	宇田成徳	「自然の中にすべての情報がある」	
	青木匡光	「人間接着剤20年をかえりみて」	
	工藤由美	「私の取材の技術」	
	高嶋直人	「豊後国分寺の三角形の謎」	
	重里俊行	「人生出たところ勝負」	
	山本英夫	「電気鉛筆法」	
	高嶋直人&岸野博史	「大分の地名の秘密」	
	池松邦彦	「単行本の企画・編集方法入門編」	
	寺島実郎	「いまわれわれは歴史のどの時点にいるのか」	
	杉澤達也	「金融ビッグバンとは何か」	
	本田有明	「ビジネスに活かす哲学的思考法」	
	大橋悦男	「パソコンによる情報整理」	
	佐藤進	「サラリーマンから知的自由業への変身法」	
	宮原哲	「カルチャーショックを楽しんで国際人になろう」	
	工藤由美	「フリーランスなんて怖くない」	
	多喜義彦	「ビジネス・プロジェクター育成講座」	
	山本英夫	「アイデアの基本がわかる電球エンピツ法」	
	天野祐吉	「情報天気図」	
	長崎快宏	「取材メモの活かし方と情報ツール活用法」	
	立花隆	「私の問題追及の技術」	
	寺島実郎	「複眼的思考のすすめ」	

知的生産の技術研究会講演記録
(1970～2021)

開催年	講師	セミナーテーマ
1998	多田直彦	「コンビニのシステムから学ぶ知的生産のヒント」
	中野不二男	「メモの技術ーパソコンで知的生産」
	大串英明	「アクティブ・ライフ・キャンペーンで学んだこと」
	財津秀邦	「万年山の主題による変奏曲」
	瀬木宏康	「すべての映像は演出されている」
	東真人	「ドメインの再定義」
	ユー・ファ・ジョン	「玄海人として生きる」
	石野伸子	「男性社会を生き抜く、新聞に女性パワーを」
	福島哲史	「わたしのメモ術・デジタル時代を迎えでの五感活用知的生産術」
	関沢英彦	「概念を溶かす」
	岡田斗司夫	「アニメ制作の発想」
	菅沢弘行	「仕事の能力を引き出す」
	多喜義彦	「ビジネス・プロジェクターを育てる」
	岡野勝志他	「ディベートを徹底的にディベートする」
	梶井一仁	「社内企業からスタートして大学教授になる法」
	伊藤久	「体験的異文化論」
	八木哲郎	「自分史の書き方」
	河村幹夫	「デリバティブはお化けか女神か」
	大谷幸三	「取材は度胸」
	欠野アズ紗	「心を磨く人生を生きよう」
	久恒啓一	「宮城大学“知的生産の技術”教育の実験」
	杉澤達也	「どうなる金融ビッグバン」
	青木定雄	「日本と日本人の活力をとりもどす」
	大田黒武行	「インド独立に貢献した父大田黒又男のこと」
	轡田隆史	「魅力ある文章が書けるようになるために」
	神野力	「吉備の国の物語」
	鍋数夫	「生態的マーケティング理論の応用」
	小佐田定雄	「落語の魅力」
	守屋洋	「中国古典に学ぶ知恵」
	徐元宇	「日本文化と法伝統、韓国とのひかくにおいて」
	今野仁	「パフォーマンス学について」
大田黒久夫	「自己に忠実に生きる」	
野田一夫	「キャンパスの子どもたち」	
杉村芳美	「良い仕事の発想」	

知的生産の技術研究会講演記録
(1970～2021)

開催年	講師	セミナーテーマ
1999	大内勲	「能力拡大の技術」
	望月照彦	「非線型人生の設計」
	小林聡	「パソコンで書く」
	中山正和	「創造性開発総まとめ」
	土池清次	「ネットワークのちえ」
	軍司貞則	「知が変わる、空海に学ぼう」
	佐山和夫	「野球の向こうに世界が広がる」
	山本佳耶	「5歳若く見える秘訣」
	久恒啓一	「敵を知り己を知れば百戦してあやうからず(エニアグラム入門)」
	安倍佳代子	「プレジデントの編集長になって」
	福山琢磨	「自分史の書き方」
	小野裕子	「整理・整頓が人生を変える」
	財津秀邦	「4億年の彼方からの風」
	新出安政	「書くことの大切さについて」
	梶井一仁	「わたしの知的生産について思うこと」
	近藤昌平	「お菓子の中に愛のストーリーを込めて」
	渋谷正信	「水底の世界で仕事して」
	河上亮一	「学校崩壊」
	菅沢弘行	「仕事の能力を引き出す」
	野村正樹	「自分の著書を持つ方法」
	森永卓郎	「日本ラテン化計画」
	佐分利応貴	「日本型雇用環境はどう変わるか」
	平松鷹史	「暮らしとことば」
	村松増美	「わたしの英語ウオッチング&リーダーたちのユーモア1」
	小石雄一	「自分の時間の使い方、創造的生き方の29の法則」
	野田一夫	「人前でしゃべる技術」
	鮫島達郎	「現代用語辞典の創り方」
	北矢行男	「日本を救うソシオ・ビジネス」
	江口雄次郎	「インターネット時代に必須な身体的知的創造術」
	高城幸司	「リクルート式しごと術ひとり勝ちの法則」
	山田厚史	「今年、日本の変革はどこまで進むか」
	永井章夫	「最近の子供たちの表情」
	牧野和夫	「米国の弁護士の資格取得と活用の仕方」
笠木恵司	「グローバル時代の国際資格」	
西山昭彦	「自分のキャリアをどうつくっていくか」	

知的生産の技術研究会講演記録
(1970～2021)

開催年	講師	セミナーテーマ
2000	永田清	「個人シンクタンクになろう」
	内田善久	「インターネット証券市場の衝撃」
	白井達郎	「産学連携と技術移転」
	片岡五郎	「名優とは自信なり」
	中沢義則	「囲み記事ができるまで」
	三田村和彦	「経営者とビジネスマンに贈る20のヒント」
	江崎通彦	「知識を知恵に変える法」
	疋田智	「自転車通勤でいこう」
	林義樹	「参画型授業経営に関する研究」
	矢間仲次	「技術者よ、元気をだしなさい」
	藤田正美	「NEWSWEEK」発最先端のアメリカ経済情勢」
	金子信行	「多言語が開くあなたの21世紀」
	江口雄次郎	「アナログで話そう」
	脇豪成	「天命交渉論」
	岸英光	「コミュニケーションノコツ教えます」
	齊藤俊輔	「大阪弁川柳の世界」
	金丸弘美	「ライターになる法教えます」
	的場成夫	「ビジネスモデル特許入門」
	多田修	「IT革命で生活を変える」
	荒金学	「今子供にとっていちばんたいせつなこと」
	伊藤義高	「知識と知恵を考える」
	久恒啓一	「ビジネス・コミュニケーションとしての図解表現の技術」
	西和彦	「わたしの考える21世紀的知的生活」
	松本道弘	「最新米国ビジネス情報を英語と日本語で聞く」
	今村栄三郎	「意思決定の技術」
	つなぶちようじ	「胎内記憶と癒しについて」
浦達也	「複雑系で一変する物の見方」	
2001	阿部良行	「ほのぼのコンサートができるまで～イベント企画術」
	中村博司	「自転車一人力パワーの効用」
	寺島実郎	「時代認識と針路ー社会工学の時代」
	岩井好子	「色彩心理を活かした自己表現」
	石渡照代	「リアルタイム字幕とバリアフリー」
	近藤節夫	「海外武者修行のすすめ ひとり旅の体験」1
	斎藤健	「良心的な一官僚の意見」
	池松邦彦	「ベンチャー教育」
	久恒啓一	「インターネット勉強法」
	池松邦彦	「IT革命のビジョン」
	浅川基男	「社会の常識 大学の非常識」
	唐沢明	「五時から作家になる法」
	環境と知特集 野田一夫	「外なる環境、内なる環境」
	浜田和幸	「環境と国際関係」
	野中郁次郎	「知恵の場の創設」
	池永俊八	「アミビア選挙監視活動の思い出」
	吉村克己	「企業におけるeラーニング研修」
	井上昭成	「商品開発、私はこうしている」
	米本昌平	「21世紀は生命科学の時代」
	福田直樹	「経済構造改革論を超えて」
	スチルマン美紀恵	「女性外交官から見た日本」
	芦田の毎日	「IT・情報化」時代の指針
	梅棹忠夫	「新世紀における日本語の運命」
	荻原みゆ紀	「パフォーマンス学」
	阪本亮一	「心をつかみ人を動かす実戦話力」
	工藤由美	「車いすから見た東京」
	手銭克己	「21世紀を迎えてISOって何」

知的生産の技術研究会講演記録
(1970～2021)

開催年	講師	セミナーテーマ
2002	阿部良行	「ほのぼのコンサートができるまで～イベント企画術」
	田中昌六	「茶の湯から見た企業の生き様」
	藤和彦	「よみがえれ中小企業」
	田近伸和	「ヒューマノイドの未来」
	寺島実郎	「2002年の展望ー新しい時代は国民が作る」
	矢矧晴一郎	「ヤハギの能力開発シリーズ」
	野田一夫	「私の大学教育論」
	齊藤精一郎	「日本経済非常事態宣言」
	大岩元	「IT人財になるにはストックを覚えれば簡単」
	村松増美	「笑いと言語」
	大沢みずほ	「シンクロにとって音楽は命である」
	佐山和夫	「本を書くにはどうすればよいか」
	莫邦富	「中国が日本を超える日」
	莫邦富	「中国が日本を超える日」II
	久恒啓一	「図で考える人は仕事ができる」
	星野耀子	「話し方のソフトとハード」
	広瀬隆	「燃料電池が普及する日、環境問題は解決する」
	船山信次	「個人情報構築」
	伊藤明子	「繁盛店は色で決まる」
	加藤由基雄	「ヒット技術を生む9つの絶対法則」
	福山琢磨	「自分史にたちはだかる書けないことをどう書けばよいか」
	三石博行	「社会文化現象のデザイン」
	養老孟司	「人間の中の自然を活かす～いかに生きるか」
	齊藤健	「行政改革は成るか 日本官僚の体質を壊す革新官僚の挑戦」
	三石博行	「社会文化資源の分析方法I」
	齊藤健	「行政改革はなるか」
	本田有明	「自分の思想をどう創るか」
三宅佳樹	「いえをつくる」	
久保田貢	「出会いとコミュニケーション」	
2003	カトリーナ・ワッツ	「相撲にいれこんだカトリーナ」
	村松増美	「英語と笑いが日本を救う」
	岡本勝吾	「全文検索の活用」
	寺島実郎	「2003年、この決定的な年、いかなる展開が予想されるか」
	重里俊行	「2003年の日本経済はどうなるか」
	小野元裕	「21世紀は人生のテーマを深める時代」
	赤池学	「科学技術NPO活動とその展望」
	木村早苗	「パート・アルバイトの戦力化」
	石井正幸	「いよいよ変わる日本の銀行」
	田中宇	「国際戦略はキツネとたぬきの化かし合い」
	小野恒	「市民参加で活路がひらける」
	軽部征夫	「キャリアをいかに開発するか～わたくしのたどった道」
	青木豊彦	「東大阪から人工衛星」
	久恒智彦	「日産はどうして生まれ変わったか」
	梅棹忠夫	「文明の生態史観について」
	青木環	「ロストプロセスジェネレーション」
	佐々木康雄	「コンピュータネットワーク文明の潮流」
	小中陽太郎	「物書きの大先輩からのアドバイス」
	竹内謙	「市長の仕事」
	内山正之	「僕が出版社を始めたわけ」
	養老孟司	「バカの壁」と稲本正
	清水智子	「身の丈ビジネス～企業を目指す女たち」
	伊藤松郎	「ビジュアル的説得力」
	村松増美	「英語とユーモアが世界を救う」

知的生産の技術研究会講演記録
(1970～2021)

開催年	講師	セミナーテーマ
2004	寺島実郎	「2004年の世界の動きを予測する」
	久恒啓一	「できる人になるには勉強してはいけない！」
	野村正樹	「会社勤めをしながら作家になる法」
	上船美和	「コーチングで知的生産性を高める」
	青木ルミ	「ココロとカラダのアンチエイジング講座」
	加藤 秀俊	「知的生産の技術の原点」
	藤田紘一郎	「キレイはビョーキ」
	西澤真紀子	「ファイリングの極意、もう一つの知的生産の技術」
	駒村康平	「年金はどうなる？国民の信頼を勝ち得るか」
	西和彦	「ベンチャーやるなら3つの覚悟」
	近藤節夫	「シベリア鉄道を通して「大国」ロシアを思
	柴垣英昭	「トレーダーという仕事」
	斎藤健	「大臣秘書官という変わった仕事から見てきたもの」
	林幸治郎	「ちんどん屋的路上的観察術」
	斎藤健	「“官”についての疑問と対話」
	野村正樹	「わたしの人生ライフワークへの道」
	莫邦富	「中国の心をつかむ企業戦略」
	広瀬隆	「大統領選挙とアメリカの分裂」
	高島直人	「豊後国分寺の位置設定について」
	齊藤三郎	「岡山の電話はこのよに創られた」
新谷彰男	「さよなら黒板教育への挑戦」	
2005	蟹瀬誠一	「メディアは人間を幸せにするか」
	高山憲之	「信頼と安心の年金改革」
	床美幸	「知識・経験・人脈ナシからの新事業・新会社設立」
	水谷哲也	「古本屋商売」
	久恒啓一	「合意学入門」
	轡田隆史	「日本の心を考える」
	寺島実郎・加藤秀樹	「官から民への流れをいかに加速するか」
	森田幸典	「ボールルームダンス界と私」
	芦田宏直	「コマシラバスが学校と教育を変える」
	吉田雅代	「アントレプレナーシップとベンチャー失敗の法則」
	池松邦彦	「職業人としてのリーダーシップと人間力」
	久保田達也	「くぼたつ企画術」
	寺島実郎	「21世紀の世界政治と日本」
	太田順一	「「写真を撮ることは人生を撮ること」
	西和彦	「ベンチャービジネスで夢を開き、一流を目指せ」
	平田真一	「我が国の専門教育と人材教育」
	渡辺道夫	「山田方谷の教えを現代に活かす」

知的生産の技術研究会講演記録
(1970～2021)

開催年	講師	セミナーテーマ
2006	久恒啓一	「図で考えれば文章がうまくなる」
	朝比奈一郎、木村伸吾	「霞が関に改革ののろしあがる」
	近藤由美子	「皆様に支えられて奮闘する美津濃の女将さん」
	浅川基男	「モトイズム 産業界から大学に転じた十年の顛末記」
	平田篤州	「夢は譲れない」
	福住昌子	「NLP入門」
	寺島実郎	「2006年の世界潮流を読む」
	野村正樹	「郵便局ファンの会」応援団長が
	南恵子	「ロハスな生活ってなんだろう」
	林望	「芸術力の磨き方、鑑賞と自己実現へ」
	吉田勝光	「博士号を取得して」
	白附克仁	「見せる企業宣伝から魅せる企業演出へ」
	藤原正彦	「国家の品格」
	松山真之助	「ネット時代、楽しみながら人生の可能性をひろげるノウハウ」
	井久保伊登子	「心豊かに”私”を生きる、互いに支え合いながら」
	喜多雅美	「54歳の転職、化学企業から大学知財本部へ」
	畠山真一	「小さな政府・特集」
	二神能基	「希望のニート」
	近藤節夫	「覇権国家ロシアの本質と民族性」
	小島典子	「家庭教育 心の躰」
	北川賢一	「ITソリューションビジネスの最前線」
	鈴木博信	「ソ連崩壊とロシア政治史のサイクル」
	福田博	「最高裁判事10年を体験して」
	小中陽太郎	「物書きを志す人に與う」
	金容善、李せい遠	「途上国に生まれてよかったと思うこと」
	豊田佳明、大石裕一	「入門ポストキャスト」
	久恒啓一	「人物記念館めぐり128館まわって考えたこと」
浜松昭夫	「伝統の技と新しい感性を求めて」	
2007	浅沼ヒロシ他	「きっとできる、あなたも本を出してみよう」
	久保田貢	「命を紡ぐ」
	鶴野充茂	「SNS的仕事術」
	寺島実郎	「2007年の世界潮流を予測する 新しい世界秩序への英知」
	青木匡光	「真友こそ後半人生のサポーター」
	大内勲	「危機管理と問題解決の手法」
	大石裕一	「RSSで情報収集能力が10倍になる」
	風間直樹	「雇用融解」
	蔡英俊	「中国を語る」
	李昌雨	「現場から学ぶ」
	副島隆彦	「ドル覇権の崩壊」
	北岡和義	「SOMETHING DEFFENT, SAMTHING NEWと和の世界」
	塚本真也	「企業内文章からプレゼンテーション技術まで」
	雨坪寿則	「転機はチャンス」モシモシか
	2008	李昌雨
小林尚衛		「整備士のプラスアルファ」
小野恒		「地図に残る仕事をして30年」
寺島実郎		「2008年の世界潮流を予測する」
加藤秀俊		「知的生産と知的道楽」
溝江玲子		「私が童話作家になれた、その方法」
樋口裕一、久恒啓一		「表現の技術、文章をつかうか、図解をつかうか」
正賀		「遠い島 硫黄島 その33年」
樋口裕一VS久恒啓一		「表現の技術、文章を使うか、図解を使うか」
中井浩一、学生		「若者の学力は下がっているか」
武者陵司		「新帝国主義論とアメリカの金融恐慌」
木村千鶴		「刺繍文化に触れる」
森田昭一郎		「倉敷もん流の生き方」

知的生産の技術研究会講演記録
(1970～2021)

開催年	講師	セミナーテーマ
2009	船山信次	「毒と薬の世界史」
	寺島実郎	「2009年の世界潮流を予測する」
	久保田達也	「eラーニングで伸びる能力」
	市原実	「観光カリスマ100人の本を出す」
	水野和夫	「日本人が見誤ったグローバル経済の本質」
	北康利	「プリンシプルを貫いた男、白洲次郎」
	郷原信郎	「思考停止社会～「遵守」にむしばま
	佐々木俊尚	「2011年 メディアは再構築される」
	関口和一	「クラウド時代の情報活用法」
	万代勉	「近江の芭蕉」
2010	宮林英子	「野鳥は大切な仲間」
	寺島実郎	「2010年の世界潮流を予測する」
	久恒啓一、山田直哉、樋口裕一	「最初の1冊の壁をいかに越えるか」
	東谷暁	「エコノミストたちの知的生産を考える」
	神田敏晶	「ツイッター革命」
	芦田宏直	「機能主義とメディアの現在」
2011	細川和徳	「歌舞伎を通しての街づくりIn琴平」
	水谷弘隆	「勉強3・0—大人の勉強は内なる欲求から」
	奥野宣之	「知的生産ワークアウト」
	長谷部裕治	「独自に開発した思考の整理法、思い出すための技術」
	寺島実郎	「2011年の世界潮流を予測する」
	久恒啓一	「私は『遅咲き偉人伝』をいかにして書いたか」
	杉澤達也	「英国と日本」
	玄秀盛	「新宿駆け込み寺で玄さんならではの社会貢献」
	藻谷浩介	「デフレの正体と震災後の日本の進路」
	池辺淑子	「英語力、本当のところ」
	水谷弘隆	「30歳をすぎてから”つかえる”英語を習得」
	近藤雅文	「電磁波の性質とリスクコミュニケーション」
	吉田太一	「天国へのお引越しのお手伝い」
2012	寺島実郎	「2012年の世界潮流を予測する」
	小中陽太郎	「3人よって座談する話グセが最高だ」
	土田修	「新聞がつくる情報とは」
	原麻里子	「BBC改革と公共的価値」
	鈴木邦彦	「大都市制度とは」
	福島英	「身体は声という音色をだすための楽器」
	沈海涛	「日中問題の課題と展望について」
	寺島実郎	「2013年の世界潮流を予測する」
	相澤泰憲	「地域の社会科学系私立大学ですごした30数年間」
	中山美保	「源氏物語の世界を楽しむ」
	2013	三原喜久子
武者陵司		「今年中に20年続いたデフレは終わる」
孫崎亨		「自主外交をいかに実現するか」
寺島実郎		「2013年の世界潮流を予測する」
勝木雅治		「不動産市場の変化について」
池淵竜太郎		「グローバルリーダーコース・カリキュラムを編集して」
久保田貢		「山田方谷に学ぶ」
久恒啓一		「凶独のすすめ」
小野恒		「民間人から見た事業仕分けと公共事業の実態」
梅澤貴典		「図書館と公共データベースを活用した学術情報収集法」
寺島実郎		「2014年の世界潮流を予測する」
玄秀盛		「出所者居酒屋」
梅澤貴典		「図書館と公式データを活用した学術情報収集法」
吉備槌太郎		「古代吉備の謎を探る」
桂まん我		「落語を楽しむ」
2014	都築功	「次世代を担う人を育てる教育について」
	吉永鴻一	「石巻の復興から日本のつながり再生を考える」
	三宅昭三	「岡山で偉大なジャーナリストで詩人薄田泣菫」

知的生産の技術研究会講演記録
(1970～2021)

開催年	講師	セミナーテーマ
2015	寺島実郎	「2015年の世界潮流を読む」
	江藤真規	「母親の視野拡大が私のライフワーク」
	八木哲郎	「19世紀の聖人ハドソン・テラーとその時代」を書くまで
	轡田隆史	「楽しい”考える力”と社会」
	浜田高夫	「私の映画人生」
	岡田愛子	「私の細腕繁盛記」
2016	大川夏子	「新しい生き方とネットビジネスの活用」
	八木哲郎	「近過去に2度あった好景気時代」
	水谷哲也	「梅棹忠夫先生の旧邸訪問」
	根岸昌土	「教育界に偉大な貢献をした元白虎隊士」
	いがらしゆみこ	「新たなブランド創り」
	2017	近藤節夫
八木哲郎		「朕おもうに・・・の教育勅語ができるまで」
大原安生		「安原備中守の事績」
吉田勝光		「スポーツ・健康の研究・教育の現場から」
都築義一		「イタケ島便りに書いたこと」
2018		矢矧晴一郎
	三嶽豊、きみこ	「薩摩おごじよとあづま男のわがまま文化論」
	中澤義則	「自分史の書き方」
	猪俣範一	「中国民営企業の買収交渉と新会社運営・管理から判った中国の実情」
	久恒啓一	「SNS時代の知的生産の技術」
	佐谷 恭	「食事以上の価値をつくる。旅の経験をベースに開店したパクチャーハウス」
	高津玉枝	「新しいライフスタイル エシカル消費について」
	落合英秋	「本を書きませんか」
	中沢義則	「私の履歴書ライターが語る自分史の書き方」
	矢矧晴一郎	「天才教育の提案」
	2019	小野恒
岡田正宏		「ポッドキャスト」
2020		知研50周年行事として国立民族学博物館との共同研究
2021	久恒啓一	「古今東西の幸福論から学ぼう」
	小野恒	「みんなで本を書こう！」
	猪俣範一	「憲法改正」